

授業 科目	ES2D45	2単位	選択	講義	2学年後期	担当 教員	専任講師 佐藤高博
	子ども家庭支援の心理学						

授業の概要

- ① 保育の場で子どもの発達援助や子育て支援を行う際に必要となる心理学の知識や考え方について学ぶ科目である。
- ② 配布資料等を用いながら、教科書に沿って進めていく。
- ③ 講義が中心であるが、理解を深めるために演習課題を課すことがある。
- ④ 該当箇所の予習や積極的な質問などにより主体的に学ぶ姿勢が望ましい。

到達目標	学習成果Ⅰ			学習成果Ⅱ			学習成果Ⅲ		
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
1. 生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等について理解する。	○	○	○	◎	◎	◎	○	◎	
2. 家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係等について発達の観点から理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得する。	○	○	○	◎	◎	◎	○	◎	
3. 子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解する。	○	○	○	◎	◎	◎	○	◎	
4. 子どもの精神保健とその課題について理解する。	○	○	○	◎	◎	◎	○	◎	

凡例 ◎: 学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために特に重要な目標、○: 学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために重要な目標 査定項目①～⑨はVページ参照

	主 題	準備学習	本時の学習内容と到達目標	復 習
1	オリエンテーション 乳児期の発達の特徴と課題	シラバスに目を通しておく。 教科書第1章に目を通しておく。	授業の進め方と評価の方法を理解する。 乳児期の発達の特徴について理解する。 乳児期の発達の課題や援助について理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
2	幼児前期の発達の特徴と課題	教科書第2章に目を通しておく。	幼児前期の発達の特徴について理解する。 幼児前期の発達の課題や援助について理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
3	幼児後期の発達の特徴と課題	教科書第3章に目を通しておく。	幼児後期の発達の特徴について理解する。 幼児後期の発達の課題や援助について理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
4	児童期の発達の特徴と課題	教科書第4章に目を通しておく。	児童期の発達の特徴について理解する。 児童期の発達の課題や援助について理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
5	青年期の発達の特徴と課題	教科書第5章に目を通しておく。	青年期の発達の特徴について理解する。 青年期の発達の課題や援助について理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
6	成人期・老年期の発達の特徴と課題	教科書第6章に目を通しておく。	成人期・老年期の発達の特徴について理解する。 成人期・老年期の発達の課題や援助について理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
7	家族・家庭の意義と機能	教科書第13章に目を通しておく。	家族・家庭の概念について理解する。 家族・家庭の定義や機能の変化について理解する。 家族観・家庭観の変化について理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
8	親子関係・家族関係の理解	教科書第14章に目を通しておく。	子育て期における家族の問題について理解する。 家族のライフサイクルやシステム論について理解する。 親子関係・家族関係を把握し、支援について理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
9	子育ての経験と親としての育ち	教科書第15章に目を通しておく。	親になるということについて理解する。 親たちが置かれている状況について理解する。 親になるプロセスや成長・発達について理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。

10	子育てを取り巻く社会的状況	教科書第9章に目を通しておく。	子育てをめぐる社会と家庭の変化について理解する。 現代の子育ての難しさについて理解する。 保育における子育て支援や、さまざまな子育て支援制度・サービスについて理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
11	ライフコースと仕事・子育て	教科書第10章に目を通しておく。	ライフコースの変化について理解する。 性役割意識の変化と子育ての現状について理解する。 ライフコースの視点を活かした子育て支援について理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
12	多様な家庭とその理解	教科書第11章に目を通しておく。	現代の多様な家庭・家族について理解する。 多様な家庭形態に合わせた支援について理解する。 支援のためのアセスメントについて理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
13	特別な配慮を必要とする家庭	教科書第12章に目を通しておく。	特別な配慮を必要とする家庭について理解する。 喪失体験や家族構成員の変化について理解する。 配慮や支援のポイントについて理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
14	子どもの生活・生活環境とその影響	教科書第7章に目を通しておく。	食事、睡眠、排泄、遊びなどの子どもの育ちの基本について理解する。 子どもの育ちと環境との関係性について理解する。 特殊な環境で育つことによる影響について理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
15	子どもの心の健康にかかわる問題	教科書第8章に目を通しておく。	子どもの心の状態をとらえる視点について理解する。 子どもの心の健康にかかわる問題について理解する。 レジリエンスについて理解する。	学んだことを自分なりにまとめる。
成績評価	授業への取り組み・課題の提出（30％） レポート（宿題）の提出（20％） 期末試験（50％） 合計 100％			
教員からのコメント	この授業では、生涯発達に関する心理学的な知識、子育て家庭をめぐる現代の社会状況や課題に対する知識、親子関係や家族関係に関する知識を習得したうえで、多様な子どもや子育て家庭に対する配慮や支援について学びます。さまざまな子どもや家庭に対してかかわる際、それぞれの子ども・家庭の個別性を理解しながら、心理学や社会福祉の知識・技術を活用して支援していけるように、この授業を通じて、その基礎を培って欲しいと思います。			
教科書	書名 事例で楽しく学ぶ 子ども家庭支援の心理学 著者 芝野松次郎 編集代表 発行所 中央法規	推薦図書	書名 授業の中で随時紹介する。 著者 発行所	